

嘔吐

2005年12月30日(金)

昨日、8ヶ月の男の子が急に母乳を飲んだ後に嘔吐したとのことで来院。

いつもニコニコ顔のかわいい子供がかなり不機嫌そうだった。

原因は、お母さんとお父さんの喧嘩によるストレス。

ストレス状態の母乳を飲み、さらに一人にされるといふ不安も重なっていた。

一回目の治療後、母乳を飲んでもらい、仮眠をとってもらった。

その後、目を覚まし、受付でお母さんが待合室の椅子に座らせたところに、嘔吐した。

ご機嫌があまり改善されなかったため、まだ、何かあるのかなという感じがあったが、初めに嘔吐したときも一人で寝かされていたらしく、一人にされるといふ条件付けも嘔吐の原因になっていた。

もう一度その一人になる不安感の条件反射療法を行い、様子を見てもらう。

その後、お母さんから電話があり、治療後は元気になっていたが、夕方、お母さんが抱きながら寝て、横に子供を移動させようとしたときにぐずり始めたとのことで、再度来院してもらい、一人になる不安感のストレス治療を施す。

今日、お母さんから電話が入り、一度、嘔吐したとのことだが、その後はいつものようにニコニコ顔が取り戻され元気になったとのご報告をいただいた。

原因が分かればお母さんも安心される。

これが本当の原因なのにウイルスのせいなどにされると治りが悪くなる。

本当の原因が誤魔化され、苦しい思いをするのは子供である。

早期に本当に原因を見つけることが子供の健康を守ることにつながる。